

令和7年度進行管理・評価シート
岩国市歴史的風致維持向上計画（令和6年7月17日認定）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 岩国市歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 岩国市景観計画	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 岩国城跡等調査事業	3
2 重要文化財旧目加田家住宅整備事業	4
3 岩国高校記念館改修事業	5
4 重要文化的景観の重要な構成要素の整備	6
5 歴史的建造物の保存活用	7
6 岩国練武場改修事業	8
7 岩国学校教育資料館改修事業	9
8 JR西岩国駅駅舎改修事業	10
9 岩国城耐震等改修事業	11
10 岩国城ロープウエー耐震等改修事業	12
11 まちづくり団体設立・育成支援事業	13
12 歴史的風致を支える市民意識の醸成に関する事業(郷土史研究会)	14
13 錦帯橋鶴飼保存事業(歴史的風致を活かした観光振興事業)	15
14 岩国南条踊記録作成事業	16
15 山代神楽の紹介リーフレット作成事業	17
16 城下町街なみ環境整備事業	18
17 文化的景観の整備活用	19
18 吉香公園 北東ゾーン園路整備事業(仮称)	20
19 景観形成事業補助制度	21
20 岩国2丁目観光駐車場整備事業	22
21 岩国4丁目観光駐車場整備事業	23
22 (仮称)錦帯橋ビジターセンター整備事業	24
23 岩国市博物館整備事業	25
24 未指定文化財の調査	26
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用の現況・体制と今後の方針	27
2 文化財の修理(整備)に関する方針	28
3 文化財の防災に関する方針	29
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する方針	30
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 岩国行波の神舞奉納 他	31
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 住民意識や認知度の向上	32

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	33
--------------------------------	-----------

評価対象年度		令和7年度
項目		現在の状況
岩国市歴史的風致維持向上計画の実施体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本市は、本計画の実施にあたって、歴史まちづくり法第11条に基づく「岩国市歴史的風致維持向上計画協議会」を中心に、計画の進捗管理・評価などの計画推進に係る事項や計画変更の協議などを行う。協議会の事務局は、文化財の所有者・管理者、関係団体などとの連絡調整を行い、本計画の円滑な推進に努める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
上記協議会は、景観整備課が事務局となり運営している。 令和7年度は、歴史的風致形成建造物の指定、進行管理・評価シート、計画の軽微な変更に関する意見聴取を諮るため、「岩国市歴史的風致維持向上計画協議会」を令和7年12月25日、令和8年3月17日に開催した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画の進捗管理・評価などを協議する場面において、関係部署が多岐にわたるため、事務局が庁内での集約・意識共有を行い、円滑な計画推進を図っていく。	
状況を示す写真や資料等		
岩国市歴史的風致維持向上計画の実施体制 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <令和7年度の開催実績> 第4回 (R7.12.25開催) ○岩国市歴史的風致形成建造物の指定 第5回 (R8.3.17開催) ○計画の進捗管理・評価 ○岩国市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更 </div>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> 第4回協議会の様子

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
岩国市景観計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載『岩国市景観計画』では地区の特性を活かしたきめ細やかな景観形成を図る必要がある地区として、横山地区と岩国地区を重点地区に指定している。同計画に基づき、城下町にふさわしい良好な景観の形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

同計画に基づき、建築物・工作物の新築・改修等に対し、地区の特性に応じた景観誘導を行った。
 令和7年度の重点地区の届出件数は、12月末時点で71件。(令和6年度:68件)
 また、景観形成に関する重要な事項について審議する岩国市景観審議会を設置しており、令和7年度は1月末時点で2回開催した。(令和6年度:3回開催)

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

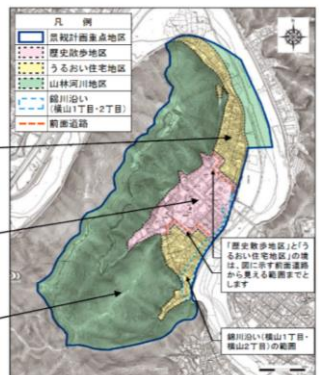
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

様々な関係法令の手続きが発生する建物の新築と比べ、外壁の塗り替えや塀の新設などは、通常行政の手続きが発生しないため、届出が漏れてしまうケースがあり、継続的な制度の周知が必要である。

状況を示す写真や資料等

重点地区における景観形成の方針

横山重点地区



- うるおい住宅地区**
周辺の歴史的景観に配慮した閑静な住宅地の景観づくりをめざします。
- 歴史散歩地区**
錦帯橋から続く多くの歴史的景観資源と観光資源を活かした景観づくりをめざします。
- 山林河川地区**
城山斜面緑地と錦川河川区域の自然景観を保全します。

方針1 豊かな自然を守り・活かす

- 市街地から城山へと続く緑を守り、吉香神社や土手、河川敷の桜並木をはじめとした四季折々の豊かで美しい自然を感じられる景観づくりをめざします。
- 錦帯橋や錦川から城山への眺望景観を守り、文化的景観の継承に取り組みます。
- 史跡をつなぐ堀割と菖蒲園の水辺景観を保全します。
- 錦川の流れと護岸、河川敷の竹林が形成する河川景観を保全します。

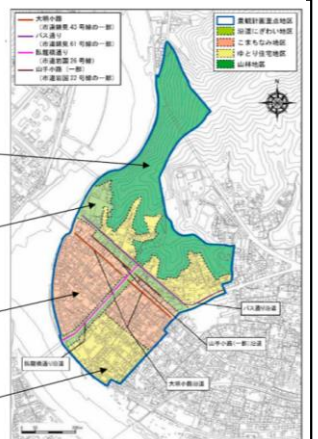
方針2 歴史文化を未来へつなぐ

- 岩国城下町の歴史を受け継ぐ建造物、堀割や石垣、門塀・庭木の緑が連なるまちなみと人々の暮らしが形作る文化的景観を守り育て、歴史文化を未来へつなぐ景観づくりをめざします。

方針3 快適なまちを守り・創る

- 錦帯橋周辺や城山から眺望されるまちなみ、いぶし銀の和瓦屋根と建物の高さが整った統一感のある家々を守り育てます。
- 城下町の文化的景観を継承するとともに、武家屋敷地に由来する、ゆったりとした土地利用からなる風情と風格を育むよう、門・塀や前庭の緑が連なる和風の佇まいを基本とするまちなみ景観をめざします。
- 景観形成を通じて、道路や公園、歩行者ネットワーク等の住みやすい都市基盤整備を図るとともに、公共施設の修繕を図り、快適な居住環境の向上をめざします。

岩国重点地区



- 山林地区**
権尾神社へ続く緑と岩国山へ続く山並みの自然景観を保全します。
- 沿道にぎわい地区**
岩国地区へのアクセス道路沿道に、風格と統一感のある景観づくりをめざします。
- こまちなみ地区**
岩国城下町に由来する商業地の歴史と文化を継承した、風情のある景観づくりをめざします。
- ゆとり住宅地区**
武家屋敷地等に由来するゆとりと風格を感じる低層住宅地の景観づくりをめざします。

方針1 豊かな自然を守り・活かす

- 市街地の背景として権尾神社から岩国山に続く緑を守り、四季折々の豊かな自然を感じられる景観づくりをめざします。
- 錦帯橋や錦川から岩国山への眺望景観を守り、文化的景観の継承に取り組みます。
- 錦川の流れと護岸が形成する河川景観を保全します。

方針2 歴史文化を未来へつなぐ

- 岩国城下町の歴史を今に伝える町割や棟門、白壁や板張りの塀、錦見七町を中心としたまちなみを形成する町家等、重要な資源を修繕し、人々の暮らしの中で使い続けていくことで城下町の文化的景観を継承し、歴史文化を未来へつなぐ魅力ある景観づくりをめざします。

方針3 快適なまちを守り・創る

- 岩国城下町の歴史的な商業地としての魅力を高め、にぎわいと風格を感じさせる文化的景観の継承と魅力ある景観の形成をめざします。
- 岩国城下町の文化的景観を継承し、錦帯橋へと続くメイン通りである大明小路の風情を継承した門塀と前庭が連なるまちなみや、歴史的な町割を継承した軒が連なるまちなみの保全・形成を図り、和のしつらえや近代建築等のモダンと調和した佇まいを基本とする、低層を中心としたまちなみ景観の形成をめざします。
- 景観形成を通じて、道路や公園、歩行者ネットワーク等の住みやすい都市基盤整備を図るとともに、公共施設の修繕を図り、快適な住環境の向上をめざします。




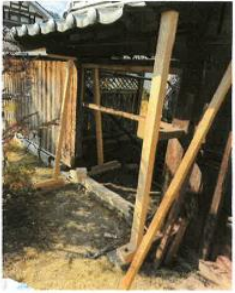
重点地区における届出対象行為

区域	行為の区分	届出の対象となる規模
重点地区	1 建築物の新築、増築、改築、移転、外観を変更することとなる修繕、模様替え、色彩の変更	規模にかかわらず全ての行為。ただし、室外機等の生活関連施設機器にあっては、前面道路から見えるものうち、幅、奥行き及び高さがいずれも1mを超えるもので、かつ、設置する高さが3mを超えるものに限る。
	2 工作物の新設、増築、改築、移転、外観を変更することとなる修繕、模様替え、色彩の変更	
	3 看板、自動販売機等の設置、取替え又は移転	
	4 建築物又は工作物の撤去	
	5 都市計画法第4条第12項に規定する開発行為	対象面積が10㎡を超えるもの又は高さが1.5mを超える法面を生じさせる切土又は盛土
	6 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更	対象面積が10㎡を超えるもの
	7 木竹の植栽又は伐採	伐採の面積が100㎡以上のもの又は樹高が5mを超えるもの
	8 屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積	対象面積10㎡を超えるもの又は堆積の高さ1.5mを超えるもの

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
岩国城跡等調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和5年度～		
支援事業名	文化庁補助(国宝重要文化財保存整備費補助金)		
計画に記載している内容	岩国城跡については、十分な調査が行われていないことから、その価値を明らかにする調査を実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・発掘調査は、岩国城跡では3ヶ所、岩国城御土居跡では2ヶ所の調査区を設定し、調査を行った。そして文献調査や、過去の岩国城跡の調査の整理作業を開始し、検討を行った。 ・調査検討委員会を2回開催し、調査において指導、助言を受けた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画どおりであるが、城跡の特色の一つである破城痕跡について、その類型化を考えていくことと、岩国城跡と岩国城御土居との城郭としての一体性や、一国一城令後の岩国城御土居跡のあり方を考えていくことなど、価値付けにかかる課題を整理している。		
状況を示す写真や資料等			
			
岩国城跡調査		岩国城跡調査	
			
岩国城御土居跡調査		岩国城御土居跡調査	

		評価対象年度	令和7年度
項目			現在の状況
重要文化財旧目加田家住宅整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度～		
支援事業名	文化庁補助(重要文化財等防災施設整備事業)		
計画に記載している内容	重要文化財旧目加田家住宅は、令和5年に保存活用計画を策定。保存活用計画に基づき、旧目加田家住宅の公開活用を推進し、そのために必要となる施設整備等を実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
保存活用計画に基づき、令和6年度に防災・防犯施設整備の実施設計を行った。令和7年度に防災・防犯施設の整備工事に着手し、防犯灯の設置、ポンプ小屋の改修を完了した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">旧目加田家住宅 外観</p>		 <p style="text-align: center;">防犯灯の新設(R7.)</p>	
 <p style="text-align: center;">消火ポンプ小屋(改修前)</p>		 <p style="text-align: center;">消火ポンプ小屋(R7改修後)</p>	
 <p style="text-align: center;">警報盤(R8改修予定)</p>		 <p style="text-align: center;">消火ポンプ(R8改修予定)</p>	




		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
岩国高校記念館改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和6年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	岩国高校記念館は、重要文化的景観の重要な構成要素に特定されている。その老朽化による耐震性の懸念から、耐震改修を実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年9月から耐震等改修工事に着手し、曳き家(往復)を行うとともに地盤改良・基礎工事や鉄骨による耐震補強工事を行った(事業の進捗は約60%)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
事業着工前		曳き家の様子	
			
基礎工事		鉄骨補強	

		評価対象年度	令和7年度																																			
項目		現在の状況																																				
重要文化的景観の重要な構成要素の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																																				
事業期間	令和6年度～																																					
支援事業名	文化庁補助(文化的景観保護推進事業)																																					
計画に記載している内容	重要文化的景観の重要な構成要素として、重点区域内の多くの建造物が特定されている。本事業は、重点区域内にある重要文化的景観の重要な構成要素について、修理・復旧を推進する。																																					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																						
本市の重要文化的景観「錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観」の価値を保存・継承し価値や魅力を発信するために、保存活用計画及び整備計画に基づき整備事業を実施しており、令和7年度は、民間所有の重要な構成要素5件の修理に対し補助を行った。 S家住宅・門・塀:杉皮塀張替工事 F家住宅・門・塀:内門修繕工事及び外壁防腐塗装工事 細田写真館:和室床組み修繕、広縁改装、ポリカーボネート採光屋根張替工事 うまもん:主屋屋根改修工事 おみやげ処あきもと:蟻害部解体、白アリ防除、復旧工事																																						
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																				
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない																																						
状況を示す写真や資料等																																						
・取組状況の一例 (F家住宅・門・塀の修理)																																						
 <p>1. 内門修繕工事了</p> <p>・内門東側(表)</p>		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">補助対象事業</th> <th>補助対象経費</th> <th>補助率</th> <th>補助限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">建築物の修理</td> <td>主屋、附属屋、蔵、門</td> <td>保存活用計画に基づく当該物件の通常望見できる屋根、外壁等の外観及びこれと密接な関係を有する基礎、土台、床組、柱、梁材、横架材、小屋組等の構造耐力上必要な主たる構造の痕跡に従う修理に係る経費</td> <td>9/10以内</td> <td>900万円</td> </tr> <tr> <td>社寺</td> <td>保存活用計画に基づく当該物件の通常望見できる屋根、外壁等の外観及びこれと密接な関係を有する基礎、土台、床組、柱、梁材、横架材、小屋組等の構造耐力上必要な主たる構造の痕跡に従う修理に係る経費</td> <td>9/10以内</td> <td>1,080万円</td> </tr> <tr> <td>耐震診断の結果、耐震性が不足すると判断される場合に行う耐震改修に係る経費</td> <td>9/10以内</td> <td>180万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">工作物又は環境物件の復旧</td> <td>塀</td> <td>当該要素の履歴に従う復旧に係る経費</td> <td>9/10以内</td> <td>上限なし</td> </tr> <tr> <td>石垣、石積</td> <td></td> <td>9/10以内</td> <td>900万円</td> </tr> <tr> <td>その他の工作物</td> <td></td> <td></td> <td>90万円</td> </tr> <tr> <td>環境物件(重要な構成要素と一体となって保存することが必要と認められる物件をいう。)</td> <td></td> <td></td> <td>45万円</td> </tr> </tbody> </table>			補助対象事業		補助対象経費	補助率	補助限度額	建築物の修理	主屋、附属屋、蔵、門	保存活用計画に基づく当該物件の通常望見できる屋根、外壁等の外観及びこれと密接な関係を有する基礎、土台、床組、柱、梁材、横架材、小屋組等の構造耐力上必要な主たる構造の痕跡に従う修理に係る経費	9/10以内	900万円	社寺	保存活用計画に基づく当該物件の通常望見できる屋根、外壁等の外観及びこれと密接な関係を有する基礎、土台、床組、柱、梁材、横架材、小屋組等の構造耐力上必要な主たる構造の痕跡に従う修理に係る経費	9/10以内	1,080万円	耐震診断の結果、耐震性が不足すると判断される場合に行う耐震改修に係る経費	9/10以内	180万円	工作物又は環境物件の復旧	塀	当該要素の履歴に従う復旧に係る経費	9/10以内	上限なし	石垣、石積		9/10以内	900万円	その他の工作物			90万円	環境物件(重要な構成要素と一体となって保存することが必要と認められる物件をいう。)			45万円
補助対象事業		補助対象経費	補助率	補助限度額																																		
建築物の修理	主屋、附属屋、蔵、門	保存活用計画に基づく当該物件の通常望見できる屋根、外壁等の外観及びこれと密接な関係を有する基礎、土台、床組、柱、梁材、横架材、小屋組等の構造耐力上必要な主たる構造の痕跡に従う修理に係る経費	9/10以内	900万円																																		
	社寺	保存活用計画に基づく当該物件の通常望見できる屋根、外壁等の外観及びこれと密接な関係を有する基礎、土台、床組、柱、梁材、横架材、小屋組等の構造耐力上必要な主たる構造の痕跡に従う修理に係る経費	9/10以内	1,080万円																																		
	耐震診断の結果、耐震性が不足すると判断される場合に行う耐震改修に係る経費	9/10以内	180万円																																			
工作物又は環境物件の復旧	塀	当該要素の履歴に従う復旧に係る経費	9/10以内	上限なし																																		
	石垣、石積		9/10以内	900万円																																		
	その他の工作物			90万円																																		
	環境物件(重要な構成要素と一体となって保存することが必要と認められる物件をいう。)			45万円																																		
 <p>・内門西側(裏)</p>																																						
<p>工事中の状況</p>  																																						

備考 補助金の額は、補助対象経費に補助率を乗じて得た額(補助限度額の範囲内とし、1,000円未満の端数があるときは切り捨てる。)の合計額とする。


		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物の保存活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和6年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	重点区域内において、重要文化的景観の重要な構成要素として特定された建造物以外の、歴史的なまちなみを構成する歴史的建造物の保存・活用を実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は旧佐伯家住宅及び門塀の整備事業の推進に向けて、実施設計を行った。令和8年度に改修工事、令和9年度中に公開、活用開始予定。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
旧佐伯家住宅及び門塀 外観			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
岩国練武場改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和11年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	岩国練武場は登録有形文化財に指定されている。登録有形文化財として適切な維持管理を通じた保存を図るとともに、今後も、地域に根差した剣道等の会場として活用していくため、必要な改修を実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
岩国練武場 外観			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
岩国学校教育資料館改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和11年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	岩国学校教育資料館は、県指定有形文化財。各部の老朽化が進み安全対策と県指定有形文化財としての維持が課題となっているため、その改修工事を実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
▲岩国学校教育資料館外観			
			
▲瓦下の赤土の老朽		▲過去の雨漏りの様子	


		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
JR西岩国駅駅舎改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和7年度～令和9年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	JR西岩国駅駅舎は登録有形文化財に指定。昭和4年の建築以降、100年近く地域の通勤、通学の拠点として活用されているが、各部の老朽化が進み安全対策と登録有形文化財としての維持が課題となっているため、その改修工事を実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		施設の老朽化により、多額の財源を確保することや事業実施に向けた関係各機関との調整が必要となる。	
状況を示す写真や資料等			
			
JR西岩国駅駅舎 外観			

評価対象年度		令和7年度
項目		現在の状況
岩国城耐震等改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和12年度～	
支援事業名	市単独	
計画に記載している内容	岩国城は、岩国城下町を一望できる城山に昭和37年に再建され、景観重要建造物に指定されている。その老朽化による耐震性の懸念やバリアフリー上の課題があることから、耐震等改修工事を実施するもの。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和2年度に実施した岩国城耐震補強設計検討業務の診断結果を基に、関係機関と協議を実施し、耐震改修工事等を見据えた料金設定の見直しを行い、令和8年9月1日より料金改定を実施することとした。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	耐震補強を実施した場合、展示スペースの減少が懸念されており、令和12年の耐震工事に向けて岩国城の活用方法について引き続き検討を進める。	
状況を示す写真や資料等		
岩国城料金 (円)	現行	改定後
大人	270	350
大人団体	200	300
大人セット	240	300
大人セット団体※	170	-
大人障害	130	170
小人	120	200
小人団体	90	150
小人セット	110	150
小人セット団体※	80	-
小人障害	60	100




岩国城 料金表

※セットは、岩国城の入場券と併せて、ロープウエー乗車券、錦帯橋渡橋券とともに購入するメニュー。
改定後のセット購入時における同施設の入場料は、各施設の団体料金相当額を計上している。



岩国城(外観)

評価対象年度		令和7年度																																																		
項目		現在の状況																																																		
岩国城ロープウエー耐震等改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																																																		
事業期間	令和9年度～																																																			
支援事業名	市単独																																																			
計画に記載している内容	岩国城ロープウエーは、錦帯橋と岩国城のある城山山頂部をつないでおり、岩国城下町を体感する上で重要な施設。その老朽化による耐震性の懸念やバリアフリー上の課題があることから、耐震等改修工事を実施するもの。																																																			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																																				
平成30年度に実施した岩国城ロープウエー索道施設耐震等検討業務を基に、関係機関と協議を実施し、耐震改修工事等を見据えた料金設定の見直しを行い、令和8年9月1日より料金改定を実施することとした。																																																				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	工事に1年程度要する見込であり、その期間岩国城まで徒歩以外の経路がないことが課題となっている。																																																			
状況を示す写真や資料等																																																				
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">索道料金(円)</th> <th style="width: 15%;">現行</th> <th style="width: 15%;">改定後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大人片道</td><td>330</td><td>500</td></tr> <tr><td>大人往復</td><td>560</td><td>900</td></tr> <tr><td>大人片道団体</td><td>270</td><td>450</td></tr> <tr><td>大人往復団体</td><td>440</td><td>800</td></tr> <tr><td>大人セット</td><td>460</td><td>800</td></tr> <tr><td>大人セット団体</td><td>370</td><td>-</td></tr> <tr><td>大人片道障害</td><td>160</td><td>250</td></tr> <tr><td>大人往復障害</td><td>280</td><td>450</td></tr> <tr><td>小人片道</td><td>150</td><td>250</td></tr> <tr><td>小人往復</td><td>260</td><td>400</td></tr> <tr><td>小人片道団体</td><td>110</td><td>200</td></tr> <tr><td>小人往復団体</td><td>190</td><td>350</td></tr> <tr><td>小人セット</td><td>220</td><td>350</td></tr> <tr><td>小人セット団体</td><td>160</td><td>-</td></tr> <tr><td>小人片道障害</td><td>70</td><td>120</td></tr> <tr><td>小人往復障害</td><td>130</td><td>200</td></tr> </tbody> </table>	索道料金(円)	現行	改定後	大人片道	330	500	大人往復	560	900	大人片道団体	270	450	大人往復団体	440	800	大人セット	460	800	大人セット団体	370	-	大人片道障害	160	250	大人往復障害	280	450	小人片道	150	250	小人往復	260	400	小人片道団体	110	200	小人往復団体	190	350	小人セット	220	350	小人セット団体	160	-	小人片道障害	70	120	小人往復障害	130	200	 <p>岩国城ロープウエー</p>  <p>岩国城ロープウエー 駅舎</p>
索道料金(円)	現行	改定後																																																		
大人片道	330	500																																																		
大人往復	560	900																																																		
大人片道団体	270	450																																																		
大人往復団体	440	800																																																		
大人セット	460	800																																																		
大人セット団体	370	-																																																		
大人片道障害	160	250																																																		
大人往復障害	280	450																																																		
小人片道	150	250																																																		
小人往復	260	400																																																		
小人片道団体	110	200																																																		
小人往復団体	190	350																																																		
小人セット	220	350																																																		
小人セット団体	160	-																																																		
小人片道障害	70	120																																																		
小人往復障害	130	200																																																		
<p style="text-align: center;">岩国城ロープウエー 運賃表</p> <p>※・・・セットは、岩国城の入場券と併せて、ロープウエー乗車券、錦帯橋渡橋券とともに購入するメニュー。 改定後のセット購入時における同施設の運賃は、各施設の団体料金相当額を計上している。</p>																																																				

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
まちづくり団体設立・育成支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和11年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	重点区域内及び岩国市内に点在する文化財等の歴史的資源を活かしたまちづくりを推進する上では、行政の取組みだけでなく市民や活動団体の協力による取組みが不可欠。その文化財等の保存・活用に携わる団体やまちづくり団体の設立を支援し、活動経費の一部についての助成を行うもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致を支える市民意識の醸成に関する事業(郷土史研究会)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和42年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	郷土史研究会は、岩国徴古館の主催行事として昭和42年の開催以来、岩国の歴史や文化を中心とした講演を行っている。岩国の歴史的な活動や文化を広く伝えることにより、その理解を深め、歴史的風致を支える市民意識の醸成を目指すもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は第686～697回を実施済。聴講者数は、延べ562名。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
令和7年度郷土史研究会			
開催回	開催日	テーマ・講師	聴講者数
第686回	4月20日	写真で見る山代～『錦町史民俗編』のころ～(その5) 山代の蛇(ジャ)と梅雨左衛門 講師:金谷 匡人 氏(元山口県文書館副館長)	31
第687回	5月18日	高森城と山代侵攻ー防長経略の緒戦ー 講師:濱保 仁志(岩国徴古館学芸員)	41
第688回	6月15日	吉川広家一家督前ー 講師:原田 史子 氏(吉川史料館主任学芸員)	51
第689回	7月20日	ドローンで攻める岩国城と吉川・毛利の城 講師:秋本 哲治(安芸高田市歴史民俗博物館副館長) 堀切 凡夫 氏(城郭映像クリエイター)	44
第690回	8月17日	歴史の街道をゆく・旅 ー山代街道(秋掛)に関する古墓・名所・旧跡を訪ねてー 講師:友定 英章 氏(元中央公民館小瀬分館長)	40
第691回	9月21日	豊臣期吉川氏の普請ー文献史料にみる米子城普請ー 講師:水野 椋太 氏 (松江市松江城・史料調査課文化財副主任)	39
第692回	10月19日	吉川広家の葛藤～関ヶ原の戦い編～ 講師:田中 洋一 氏(元下関市立歴史博物館学芸員)	66
第693回	11月16日	吉川経家と天正9年鳥取城攻め 講師:石井 伸宏 氏(鳥取市歴史博物館学芸員)	52
第694回	12月21日	藤岡と電気鉄道 講師:下麥 誠一郎 氏(郷土史家)	44
第695回	1月18日	芸州口の戦いにおける岩国領の動向 講師:松岡 智訓(岩国徴古館学芸員)	57
第696回	2月15日	吉川家からみる天正13年四国攻めについて 講師:小笠原 美里 氏(吉川史料館学芸員)	50
第697回	3月15日	玖珂地域の陸上交通路について ー古代～近世までの概要ー 講師:杉 修介 氏(郷土史家)	47
合計(人)			562

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
錦帯橋鵜飼保存事業(歴史的風致を活かした観光振興事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成26年度～
支援事業名	市単独

計画に記載している内容 錦帯橋のう飼は、昭和29年以前から夏の夜に行われている岩国城下町の歴史的活動。その活動の保存・継承のための鵜舎の管理、鵜の飼育・鵜舟の運行・鵜匠の人材育成・錦帯橋のう飼PR等を実施するもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年6月1日～9月10日の間で計83日の運航を実施。開催日数は昨年度を上回ったが、多数の予約があったお盆時期に、錦川増水により中止となる事象が発生し、乗船者数は3,127人となり、昨年度実績を下回った。また、船頭不足の解消や近年の物価高騰に対応するため、令和7年度より、乗船料の改定を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
 □計画どおり進捗していない
 河川増水や台風被害により運航中止を余儀なくされる場合が多く、船頭不足による稼働数の制限も発生しているため、コロナ禍以前と比較すると乗船者数が伸び悩んでいる。船頭手当の見直しなどに協力し、引き続き積極的な人員募集を図る。

状況を示す写真や資料等

年度	開催日数	乗船者数
平成27年度	82	5,120
平成28年度	88	5,877
平成29年度	100	6,864
平成30年度	85	5,148
令和元年	82	4,850
令和2年	47	1,467
令和3年	46	1,480
令和4年	86	3,263
令和5年	85	3,627
令和6年	75	3,633
令和7年	83	3,127

鵜飼 開催状況



鵜飼 実施風景

令和7年度乗船料改定

鵜飼遊覧 乗船料(円)	現行	改定後
大人	3,000	3,500
小人	1,500	2,000

※改定に伴い、持込手数料300円/人を廃止

インターネットを活用した船頭募集

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
岩国南条踊記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和11年度～令和15年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	岩国南条踊は、無形民俗文化財。その内容を後世に伝えるために、映像をはじめとした記録の作成を行うもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
山代神楽の紹介リーフレット作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和11年度～令和15年度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	山代神楽は、岩国市北部の山代地域に古くから伝わる神楽の総称。山代地域の各地区に伝わる神楽について、広く紹介するためのリーフレット作成を、各神楽保存会や山代神楽連絡協議会と連携して実施するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
城下町街なみ環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 観光拠点である錦帯橋周辺を街なみ環境整備事業地区として、街なみ環境の整備を進めてきた。道路美装化や生活環境施設等の整備の遅れの課題があり、引き続き、歴史的まちなみを維持しながら、道路美装化や生活環境施設の整備等を行い、歴史・風土に調和した安全で活力ある居住環境の向上を図るもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町街なみ環境整備事業 令和7年度実施事業

事業区分(社総交付 交付要綱)	事業名	備考
生活環境施設整備	岩国高校記念館改修事業	評価軸③-3に掲載
歴史的風致形成建造物整備	旧佐伯家住宅改修事業	評価軸③-5に掲載
修景施設整備助成	景観形成事業補助制度	評価軸③-19に掲載
景観重要建造物整備助成	景観形成事業補助制度	評価軸③-19に掲載
効果促進事業	駐車場整備事業	評価軸③-211に掲載

※令和7年度は、道路美装化などの工事は実施していない。

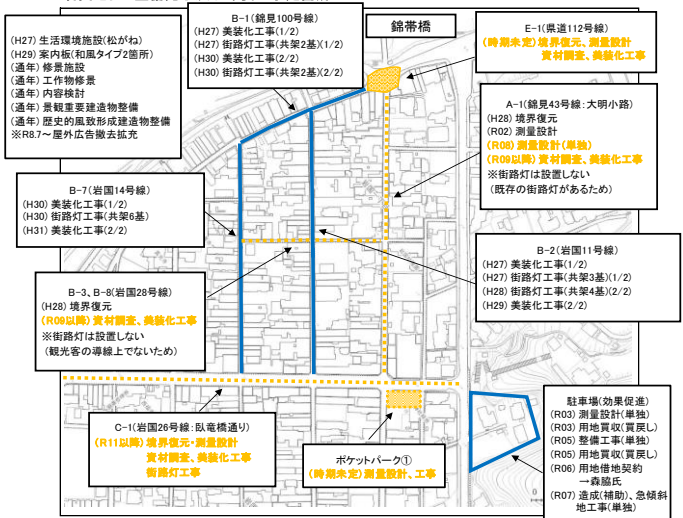
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

道路美装化などの事業は、下水道整備事業、無電柱化推進計画事業など、他の事業と工事計画地が重複する箇所があるため、実施時期等を庁内関係課・地元住民等と連携しながら検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

岩国地区 整備完了及び今後の予定箇所



横山地区 整備完了及び今後の予定箇所



		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化的景観の整備活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～
支援事業名	市単独

計画に記載している内容
 令和3年に「錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観」保存活用計画を策定し、当該文化的景観の保存活用のための方針を定めた。本事業は、文化的景観保存活用計画書第6章に示す整備事業(例: 視点場の整備、案内サインの整備等)を行うもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度から令和5年度にかけて「錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観」整備計画を策定し、令和15年までの10年間(1期目)の整備事業を取りまとめた。令和6年から、同計画に基づく整備事業について、検討・着手している。

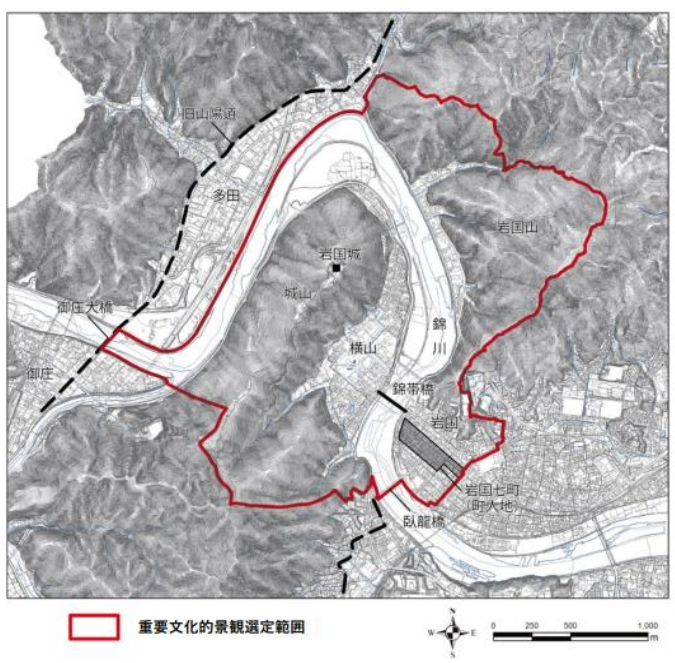
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

事業名	事業箇所	事業主体	実施期間			重点
			前期 R6-9	中期 R10-12	後期以降 R13-15	
保存システムの強化						
1) 本質的価値の継承のための仕組みの構築						
1	重要な構成要素の修理・復旧事業・耐震促進事業	所有者・市	実施			●
2	生活・生業支援補助金	事業者・市	開始	継続		●
3	重要な構成要素の追加特定、景観重要建造物の指定	市	実施			●
4	歴史的建造物活用スキームの構築	市	検討	開始	継続	
5	修理等に必要材料の確保に向けた仕組みの検討	市	検討	開始	継続	
2) 構成要素の保存に向けた整備						
6	岩国城跡調査事業 ☆	岩国城跡・御土居	市	実施		
7	城下町地区防災設備整備事業	市	計画設計	実施		
3) 本質的価値の継承に向けた体制の構築						
8	城山の保全	城山・岩国山	市・関係機関	検討	開始	継続
9	大工人材確保・育成事業 ※名勝錦帯橋保存活用計画からの再掲	市	検討	開始	継続	
10	防災・災害対応をはじめとする整備における関係機関等との連携強化	市・関係機関	検討	開始	継続	
11	地元相談窓口の設立及び活動支援	市・地元住民	設立	実施	継続	●
交流・回遊の強化						
1) 本質的価値を伝える拠点の整備						
12	吉香公園内歴史的建造物の活用に向けた整備事業	岩国高校記念館☆	市	実施		●
13	視点場等整備事業	その他	市	計画設計	実施	
		城山ロープウェイ山頂駅	市	計画設計	実施	●
		若雷城天守	市	計画設計	実施	
14	観光駐車場整備事業☆	近之森稲荷神社付近	市	実施		●
2) 本質的価値を伝えるネットワークの整備						
15	歩きやすい水辺空間づくりの取組の推進 ※名勝錦帯橋保存活用計画からの再掲	市・関係機関	検討	実施	継続	
16	街なみ整備助成事業の継続と周知促進 ☆ ※岩国市景観計画からの再掲	事業者・市	継続			
17	登山ルート周知・活用の促進	城山	市		実施	
18	案内板整備事業	市	計画設計	実施		
周知普及の強化						
1) 地域との協働によるまちづくりの推進						
19	まち歩き、座談会等開催	地元住民・市	開始	継続		●
20	ボランティアガイドとの連携・養成事業	地元団体・市	開始	継続		
2) 文化的景観の理解を深める活用の推進						
21	回遊ルートマップ・啓発パンフレット作成、デジタルコンテンツ活用事業	地元団体・市	実施	更新		●
22	城下町や本質的景観に関する幅広い対象への学習機会(観光事業者、学校教育との連携等)の創出	地元住民・市	開始	継続		
3) 文化の継承に向けた取組の推進						
23	歴史的建造物継承に向けた周知普及事業	地元住民・市	実施			

事業名	事業箇所	事業主体	実施期間			重点
			前期 R6-9	中期 R10-12	後期以降 R13-15	
24	伝統芸能・祭り伝承事業	地元団体・市	開始	継続		
25	郷土料理普及・継承事業	地元団体・市	開始	継続		



		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
吉香公園 北東ゾーン園路整備事業(仮称)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和11年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	令和元年3月策定の「吉香公園基本構想」において、吉香公園の北東ゾーンは、歴史的建造物を核として岩国の歴史や文化を体験するゾーンと位置付け。しかし北東ゾーンは、錦帯橋から大噴水付近(アプローチエリア)との接続性が弱く誘客に課題がある。本事業では、この課題を解決するため、既存園路も活かしながら、北東ゾーンに特徴ある歴史文化に調和したユニバーサルデザインの園路(歴史・文化をつなぐ道、吉香神社参道、吉香神社からの誘いの道、山辺の道、茶室への道)を整備するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
景観形成事業補助制度		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 「岩国市景観計画」において、本市を代表する歴史的・文化的な景観を有する、横山地区及び岩国地区を景観重点地区に指定して、きめ細やかな景観誘導を行っている。本事業は、良好な景観の形成に寄与すると認められる工事に対して、必要と認める経費を助成するもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 令和7年度の補助金申請件数は、12月末時点で18件。(令和6年度:21件)
 また、昭和25年以前の歴史的建造物である「修繕対象物件」については、改修にあたって専門家に意見聴取を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的な町家の通りにおいては、道路に面して軒が連なることが特徴であるが、現代の車社会において、まちなみの維持との両立についての合意形成に苦慮している。景観形成ガイドラインの周知を行い、制度をご理解していただくことに務めている。

状況を示す写真や資料等

地区	内容	件数	事業費	交付額
横山地区	修景:(建物の新築)	1	266	132
	修景:(建物の改修)	3	9,226	4,903
	修景:(困障の新設)	1	4,107	2,681
	修景:(困障の改修)	0	0	0
	修景:(看板など外構の新設)	1	404	200
	修景:(看板など外構の改修)	1	45	22
	修繕対象物件	0	0	0
	町家型建築物	0	0	0
小計		7	14,048	7,938
岩国地区	修景:(建物の新築)	0	0	0
	修景:(建物の改修)	4	2,208	1,106
	修景:(困障の新設)	0	0	0
	修景:(困障の改修)	1	526	350
	修景:(看板など外構の新設)	0	0	0
	修景:(看板など外構の改修)	1	718	350
	修繕対象物件	3	1,457	970
町家型建築物	1	875	583	
小計		10	5,784	3,359
重要建造物	修繕	1	3,235	2,156
合計		18	23,067	13,453

1 修繕

◆修繕補助対象範囲・修繕補助率・補助限度額について

本来のよさを出せるような修繕行為のうち、外観等の変更にかかる費用

修繕の対象となる建築物等	補助率	補助限度額
市が指定した建築物等		
【修繕の対象となる建築物等の選定条件】		
① 江戸～昭和初期の町家の形式を有するもの	2/3	6,000,000円
② 江戸期の武家屋敷の形式を有するもの		
③ その他近代の洋風建築、和風建築の形式を有するもの		

2 修景

◆修景補助率・補助限度額について

項目	補助率	補助限度額
建築物	屋根 和形いし日本瓦等	2/3 1,350,000円
	その他(カラーベスト等)	700円/㎡ 100,000円
	塗り壁、板張り、吹付け	2/3 500,000円
	その他(サイディングボード等)	600円/㎡ 100,000円
開口部	窓	400円/㎡
	面格子 出入口	1/2 50,000円 1/2 200,000円
門	木製	2/3 3,000,000円
	アルミ製	2/3 500,000円
	その他(ゲート等)	1/2 300,000円
	白壁	2/3 2,500,000円
塀等	白壁風、板塀	2/3 750,000円
	生け垣	2/3 300,000円
	その他(簡易な塀)	1/2 150,000円
外構	車庫	1/2 350,000円
	舗装	1/2 200,000円
	看板	1/2 350,000円
	室外機、設備機器の囲障	1/2 200,000円
	擁壁等	1/2 400,000円
仮設	直接仮設費	修景工費用定額等
設計	設計・監理	1/2 150,000円
		1/2 建築設計料率による
その他	市長が必要と認めたもの	市長が認めた額

◆町家型建築物の修景補助率・補助限度額について

対象となる建築物等	補助率	補助限度額
町家型の建築物が連なる通り等において、歴史的な建物と調和した配置を基本に、町家型の形態を有する建築物の新築・増築・改築等を行う場合に、外観に係る部分の補助を行うもの		
町家型とは…道路に面して1階の軒等が連なる建物		
【町家型の形態を有する建築物】		
○ 屋根: 傾斜屋根等、地区の歴史的建物と調和した形態のもので、傾斜屋根については、傾斜を前面の道路に向け、まちなみの連続性に考慮したもの	2/3	5,000,000円
○ 外壁等: 漆喰壁、土壁、板張り(珪藻土含む)、砂壁状吹付、白壁風のもので、色は漆喰や土、木材、砂の素材色、それらに類する白色、薄い茶色、薄い灰色のもの		
○ 開口部: 腰窓、虫籠窓、掃き出し窓で、建具の様式は、格子戸や引き戸、引き違いの戸窓、固定窓のもの		
○ 車庫等: 町家型建築物で道路に面して屋内に車庫等を配置することにより、通りの連続性に配慮したもの		

建築設計料率表	建築設計に要する費用(工事監理費を含む。)ただし、標準的な仕様による修景工事に要する費用に建築設計料率を乗じて得た額を限度とする。				
建築工事費区分(単位:百万円)	5	10	50	100	500
建築設計料率(各棟別、単位:%)	5.89	5.40	4.42	4.05	3.31
(注) 建築工事費区分の中間部分については、直線の補完により料率を定める。また、料率の調数は、小数点第3位以下を切り捨てる。					

※交付金額は、補助金審査会において決定した補助金額に消費税相当額を上乗せして交付する。
 なお、法人や個人事業者につきましては、消費税確定申告後に仕入控除額(返還額)の報告が必要。

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
岩国2丁目観光駐車場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	岩国城下町の観光用駐車場としては、錦帯橋周辺の河川敷が利用されているが、河川増水時の対応や景観上の課題がある。本事業は、河川敷からの車両移動を推進するために、岩国2丁目に観光駐車場を整備するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度において、事業認定を受けた事業用地の対象地権者全員と契約を締結。並行して事業用地拡大のため、新たな地権者との交渉を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	錦帯橋までの動線整備や完成後の管理運営体制の検討が必要。		
状況を示す写真や資料等			
◇駐車場の概要 ・全体面積・・・1987.56㎡ ・駐車場・・・立体駐車場を検討。 ◇完成予定時期(最短) 令和11年度中			
<p>起業地を表示する図面</p> <p>起業地</p> <p>字の境界</p>			

		評価対象年度	令和7年度
項目			現在の状況
岩国4丁目観光駐車場整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	岩国城下町の観光用駐車場としては、錦帯橋周辺の河川敷が利用されているが、河川増水時の対応や景観上の課題がある。本事業は、河川敷からの車両移動を推進するために、岩国4丁目に観光駐車場を整備するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度までの間に、一部用地部分を除く造成工事・急傾斜地安全対策工事を完了。 令和7年度に残りの造成工事・急傾斜地安全対策工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
岩国地区は観光客の往来が多く、その中でも乗用車で往来者の多くは、現在、錦帯橋下河原駐車場を利用している状況にある。			
		◇供用開始時期(最短) 令和9年度の早い時期	
			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
(仮称)錦帯橋ビジターセンター整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和11年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	本事業は、錦帯橋をはじめとする岩国城下町の観光案内施設、歴史文化情報発信や城下町の回遊性創出機能を持つ賑わい創出施設として、(仮称)錦帯橋ビジターセンターを整備するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
岩国市博物館整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	岩国徴古館では、収蔵・展示スペースや情報発信機能の不足といった課題がある。本事業は、令和元年から令和2年度に策定した岩国市博物館等施設再整備計画、令和3年度に策定した岩国市博物館基本計画に基づき、新館建設と岩国徴古館の改修を実施し、一体で博物館として整備するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度 新博物館の建築設計見直しと、岩国徴古館の改修実施設計、展示実施設計、アスベスト分析調査を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
▲俯瞰イメージ			
			
▲新館と岩国徴古館イメージ			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
未指定文化財の調査		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和11年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	市内各地には、地域で大切にされてきた未指定の文化財や、市の歴史文化を知る上で貴重な未指定の文化財が残されている。これらの未指定文化財の調査を行うもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和11年度からの本格的実施のために、予備調査や情報収集を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>考古資料調査(筏山経塚遺物 玦珂)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>歴史資料調査(褚祖神社扁額 本郷)</p> </div> </div>			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用の現況・体制と今後の方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本市は、文化財保護法、山口県文化財保護条例、岩国市文化財保護条例に基づき、国や県の指導助言を受け、これらの保存活用に取り組んでいる。一方、未指定・未登録の文化財については、岩国城下町を含め、その全容把握が一部しか完了していない。今後は、国・県・学識経験者等の協力を得ながら、文化財の総合的把握や悉皆調査等に取り組み、指定・登録制度等の活用による適切な保護の推進を図る。また、文化財の保存活用に係る体制として、「岩国市文化財保護条例(平成18年3月20日条例第287号)」の第21条に基づき、「岩国市文化財審議会」を設置している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財審議会の開催
 岩国城跡の発掘調査(評価軸③-1に掲載。)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等


岩国市における指定文化財の件数 186件																				令和7年12月末現在													
文化財 指定物	国指定							県指定							市指定																		
	重要文化財				民俗文化財			史跡等			有形文化財				民俗文化財		有形文化財				民俗文化財		記念物										
	国宝	重要文化財			重要民俗文化財	名勝	史跡	天然記念物	建造物	彫刻	工芸品	典籍	歴史資料	絵画	無形	史跡	名勝	天然記念物	建造物	彫刻	書跡	考古資料	古文書	工芸品	典籍	歴史資料	絵画	有形	無形	史跡	名勝	天然記念物	
種別	工芸品	建造物	書跡	工芸品	無形																												建造物
件数	2	2	5	5	2	1	0	1	3	4	3	15	2	2	4	4	2	3	5	10	26	3	1	7	19	1	5	7	7	8	13	2	12
計	21							44							121																		

国登録有形文化財:11件

- 文化財審議会の開催状況
 令和7年度の文化財審議会は1回開催

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備)に関する方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容 有形文化財は災害や経年劣化により毀損や滅失が生じる恐れがあることから、日頃の予防策と損傷等が生じた際の適切かつ迅速な修理・復旧が必要である。今後は、当該文化財の価値を損なうことのないように、必要な調査を行ったうえで、国・県・学識経験者等の協力を得ながら内容を検討し、修理を行う。また、民間が所有する歴史的建造物の修理(整備)については、必要に応じて、その保存活用に向けた支援に努める。	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
今年度は(公財)吉川報效会所蔵の県指定文化財「湖亭春望図」と市指定文化財「仙鳥館」の防蟻処理及び屋根の修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	指定文化財の修理は増加している傾向であり、文化財の状態及び今後の活用を所有者と検討しつつ適切に修理を実施していくよう対応に努める。		
状況を示す写真や資料等			
①文化財の修理			
湖亭春望図修理前		湖亭春望図修理後(軸装前)	
			
仙鳥館		仙鳥館屋根修理	
			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	有形の文化財は、火災、地震、落雷、水害、台風等の災害による毀損や滅失、そして放火、盗難等といったリスクを有している。今後は、さまざまな自然災害や人為的災害から文化財を守る防災対策を検討し、市民の防災に対する意識の向上等、被災リスクの軽減に向けた文化財の防災・防犯に対する備えを万全にするように努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧目加田家住宅における防災・防犯施設の整備工事を行った。(評価軸③-2に掲載。) 岩国学校校舎のある岩国地区の自治会や婦人会を中心に、防火訓練及び講話を実施し、市民の防災に対する意識の向上に取り組んだ。 また、地元の岩国小学校児童が見学し、防災に対する普及啓発に取り組んだ。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
訓練実施日 令和8年1月21日(水) 10:00~11:00			
			
実施場所 岩国学校校舎 岩国小学校			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本市では、文化財の保存及び活用の普及・啓発にあたって、案内板の設置、パンフレットの配布、インターネットを活用した情報発信等に取り組んできた。また、子供を含む市民を対象とした講座や体験イベント等の開催にも取り組んできた。今後は、これまでの取組を継続しつつ、更に発展させていくように、普及・啓発に向けた内容の充実に取り組んでいくことを基本とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
第24回山代神楽共演大会の開催 平成18年7月に山代地域の神楽7団体により結成した山代神楽連絡協議会の主催により、団体自身の手で積極的にイベントを企画・運営することにより、広く山代神楽の存在をPRするとともに、活動力の醸成や団体間の交流を図ることを目的とする。			
岩国民俗芸能まつりの開催 市内における、先人から受け継がれてきた民俗芸能は、地域の文化、風習、歴史などを理解する上で大変貴重なものである。これらの民俗芸能を一堂に集めて、広く市民に鑑賞していただき、その大切さを認識してもらおうと共に、ご出演いただく方々には、次代へ受け継ぐ担い手としての自覚を醸成することを目的とする。 (岩国行波の神舞保存会など、10団体が出演。)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
岩国民俗芸能まつり 		第24回山代神楽共演大会 	
			

		評価対象年度	令和7年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
岩国行波の神舞奉納 6年に一度、見物客を魅了	R7.4.7	山口新聞	
234年の伝統 庄巻の綱下り 40回目行波の神舞	R7.4.7	中国新聞	
錦帯橋健全度調査	R7.4.8	中国新聞	
岩国ゆかり刀工 活躍紹介	R7.4.10	中国新聞	
英語版歴まちカード 岩国市外国人観光客へPR	R7.4.12	中国新聞	
山代神楽 迫力の舞 岩国7団体が共演	R7.4.20	中国新聞	
坂上分校生 山代神楽学ぶ	R7.4.22	中国新聞	
7年ぶり大名行列「錦帯橋まつり」に1万3000人	R7.4.30	毎日新聞	
五連橋渡る大名行列 岩国で錦帯橋まつり	R7.4.30	山口新聞	
錦帯橋まつり 7年ぶり練り歩く	R7.4.30	中国新聞	
岩国城ゴンドラアナウンス一新	R7.5.8	中国新聞	
岩国でこども鞆飼教室	R7.5.20	山口新聞	
錦川の鞆飼い 手綱さばき挑戦	R7.5.20	中国新聞	
2026年度後期 連続テレビ小説ブラッサム	R7.5.30	中国、読売、山口、朝日	
錦帯橋の鞆飼い伝統の漁始まる	R7.6.3	読売新聞	
錦帯橋で鞆飼い始まる	R7.6.3	毎日新聞	
五橋の下 鞆匠の技	R7.6.3	中国新聞	
特攻で戦死21歳の思い 岩国出身新屋さんの遺品 練武場で展示	R7.8.6	中国新聞	
岩国の妖怪楽しく怪しく	R7.8.22	中国新聞	
江戸時代の出版文化 徴古館で企画展	R7.8.29	中国新聞	
美和で岩国民族芸能まつり	R7.9.1	中国新聞	
神楽の楽しさ奥深さ学ぶ 岩国子どもの舞も披露	R7.9.10	中国新聞	
錦帯橋に門松 迎春準備整う	R7.12.27	中国新聞	
錦帯橋 車いすで渡ろう	R7.12.28	中国新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致や建造物、文化財等が新聞等に掲載されたことで歴史的まちづくりの周知につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	地域の歴史や文化、伝統、価値に関する理解や周知が十分でないこと等から、歴まちカードの配布を中心に、計画の推進による情報発信についても取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

配布中の歴まちカード

著作権保護のため、新聞記事は掲載していません。



○配布場所
 岩国市観光交流所 本家松がね
 岩国市岩国一丁目7番3号
 TEL 0827-28-6600

	評価対象年度	令和7年度
--	--------	-------

項目

住民意識や認知度の向上

計画に記載している内容 本計画は、地域の独自性の確立や、固有の伝統文化を保全し、後世に継承することへの意識の醸成や郷土文化に誇りを持つことにより、地域の誇りや連帯意識の向上を図ることも目的とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

「令和7年度文化芸術セミナー神楽を学ぼう！」では、山代神楽連絡協議会の会長が講師となり、神楽の演目や活動、山代神楽のそれぞれの神楽団の特徴などについて説明した。セミナーの後は、北中山子ども神楽による「小太刀」「三鬼」が上演され、幅広い世代に向けて、山代神楽の伝統文化啓発が推進された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

神楽を学ぼう！ イベントポスター



評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 岩国市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和7年12月25日(木)13:30~14:55	
<p>(コメントの概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 歴史的風致形成建造物の指定物件を取りまとめて、周知するような方法があるか。 (2) 歴史的風致形成建造物を指定する際には、その個別の建物が、祭礼や生業と一体となって歴史的風致を形成している点についても示すべきである。 (3) 景観重要建造物に指定されている建造物のうち、今回、歴史的風致形成建造物に指定していないものがあるのか。 (4) 今後の利活用において、古い建造物をどのように改修し、どのように活用していくのかを示すべきである。 (5) 建造物名称に「旧」を付けるものと付けないものが混在しているため、名称表記を整理し統一すべきである。 (6) 今後、建造物の修理や整備にあたり、どのような体制で取り組むのか。また、文化庁や山口県との連携体制をどのように構築するのか。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ホームページ等に歴史的風致形成建造物の一覧を掲載し、指定物件が分かるように周知を行う。 (2) 今後、ホームページ等で各建造物を紹介する際に、関連する祭礼や生業など、歴史的風致との関係についてもあわせて記載していく。 (3) 重要文化的景観の構成要素の一部を景観重要建造物として指定している。一方で、歴史的風致形成建造物は制度の周知が十分でないことから、現時点では公共施設を中心に指定している。 (4) 利活用のあり方を検討する。特に能舞台については、実演者による現地調査を実施し、具体的な活用方法について意見を聴取する予定である。 (5) 文化財名称との整合を踏まえ、関係課と協議の上、建造物名称の表記を整理・統一する。 (6) 整備対象施設の部署が多岐にわたるため、優先順位を整理した上で、文化庁、山口県等の関係機関を連携し、計画的な整備に向けた協議を進める必要があると考える。 	

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称:岩国市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時:令和8年3月17日(火)13:30~14:55

(コメントの概要)

- (1) 景観計画の届出漏れが発生するケースについて、具体的な傾向を把握しているのか、また、今後どのように対策を講じるのか。
- (2) 景観審議会の開催頻度については、申請の都度開催されるのか。
- (3) 旧佐伯家住宅について、令和9年度に予定している公開、活用の具体的な内容を示してほしい。
- (4) 景観形成補助制度について、開始時期や補助額の設定がどのような経緯で決められたのか。
- (5) 景観形成補助制度について、補助の適用が一度限りなのか、または一定期間経過後に再度対象となるのか。
- (6) 観光駐車場の供用開始後における、現在の下河原駐車場の取扱いはどうなるのか。
- (7) 効果や影響に関する情報発信について、新聞報道以外に、SNSやインターネットを活用した取組状況を把握されているか。

【コメントのみ】

- (8) 歴史まちづくりにおいて、文化財のさらなる活用をしていただきたい。
特に、神楽などの伝統芸能については、地域の取組支援に加え、インバウンドに繋がる仕組みの検討や、観光の視点を取り入れた新たな取組が必要であるのではないかと考える。

(今後の対応方針)

- (1) 解体や改修工事に関する届出制度について、制度を知らない事業者や市民が一定数いる。このため、毎年、施工業者や地元に対してチラシを配布するとともに、オープンハウス等を通じて制度の周知を継続して行う。
- (2) 申請の都度開催するものではなく、景観重要建造物の指定や景観賞の選定などを目的として、年2~3回開催している。
- (3) 賑わい創出を目的とし、宿泊施設として活用することを考えている。
- (4) 従来から実施している制度であり、これまで見直しを行いながら補助額の引き上げなどを実施してきた。
- (5) 補助対象部位ごとに耐用年数を設定しており、その期間を経過した場合には、再度補助対象となる。
- (6) 新たな駐車場整備後は、下河原駐車場の利用を廃止する方向で考えている。
- (7) 国の紹介ページの活用に加え、市のフェイスブックやインスタグラムなどのSNSを活用し観光情報や歴史まちづくりに関する情報を発信している。